

国内各地で広まるマルチステークホルダープロセス。この二日間で一挙にわかる！

SRフォーラム 2012

社会的責任(SR)から社会的信頼(SR)へ
マルチステークホルダープロセスで実現する持続可能な社会



キーワード

CSR/SR、ISO26000、NPOにとってのISO26000、持続可能な地域、
フェアトレード、BOP、JISZ26000、社会包摂、人を育む、MDGs、リオ+20、ISO26000時代の企業経営、
NPOと企業、地域円卓会議、震災避難者支援、
新しい公共支援事業、ラギーフレームワーク、地域でのISO26000活用事例

5/17(木) 10:30～17:40
5/18(金) 13:00～17:15

会場：早稲田奉仕園



社会的責任向上のための
NPO/NGOネットワーク

主催：社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク (NN ネット)

<http://www.sr-nn.net/>

■ ごあいさつ

保健医療、まちづくり、環境、国際協力、子ども、障害者…NPO/NGOはそれぞれのミッションに基づき、社会課題の解決や持続可能な社会づくりに取り組んでいます。そのためには企業・行政・国際機関・研究、教育機関・消費者団体などと連携して取り組むことも少なくありません。日々地域の課題に果敢に取り組むNPO/NGOは「気づいた人」が取り組む活動からこれらの多様なステークホルダーと「一緒に気づき、一緒に取り組む」活動へと活動の幅が広がってきました。

このように多様なステークホルダーが、課題解決のための行動計画や目標についての合意形成を行っていく枠組みやその過程のことを「マルチステークホルダー・プロセス」と言います。多様な課題に、対等な参加と責任を分担し、対話と協働で挑むことがその特長です。私たち、社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（通称：NNネット）は、2008年5月1日の発足以来、「マルチ

ステークホルダー・プロセス」の普及や実践を重視しています。

取り組みのひとつが世界初の「組織の社会的責任(SR)」規格ISO26000への関わりです。この策定に、NPO/NGOのネットワークとして参画してきました。また日本国内では、政府も対等な立場で参画する「社会的責任に関する円卓会議」が着実に実施されており、NNネットから代表協議者が参加しています。

今年度、NNネットは5周年を迎えます。今回のフォーラムでは、NNネットがこれまでに実践してきた「社会的責任」に関する具体的な取り組みを、実践者のみなさまと共有し議論します。特に「人」が中心となり、「人」が大切にされるための組織の社会的責任について考える場を持ちます。世界の最新動向を踏まえ足元の私たちの組織のありようを振り返りながら、みなさまとともに前進する機会として開催したいと思います。

■ 1日目 5月17日(木)

10:30~
12:20

13:20

15:20

15:40

17:40

地域・国際的な視点から人権の主流化を目指して
マルチステークホルダーエンゲージメントが導く問題解決

A) SR 円卓会議報告「人を育む基盤の整備」

「人を育む基盤の整備」ワーキンググループを経て見えてきたマルチステークホルダープロセスの効果と課題を共有し、複数セクターの協働事例をご紹介します。

- ・岸田真代さん（パートナーシップ・サポートセンター）
- ・古賀桃子さん（ふくおか NPO センター）
- ・村上千里さん（持続可能な開発のための教育の10年推進会議）

A) マルチステークホルダーで地球規模の課題に

立ち向かう～SR 円卓会議・地球規模 WG

マルチステークホルダープロセスの国際的な効果と可能性がわかります！

- ・鈴木宏二さん（日本労働連合総連合会）
- ・水澤恵さん（国際協力 NGO センター）
- ・星野智子（環境パートナーシップ会議）
- ・堀江良彰（難民を助ける会） ほか

B) 事例から学ぶ「持続可能な地域づくり」と

「地域円卓会議」～SR 円卓会議・

持続可能な地域づくり 1

「持続可能な地域づくり」と「地域円卓会議」の実践が学べます！

- ・山田智志さん（千葉県生活環境部県民交流・文化課交流事業室）
- ・横田能洋さん（茨城 NPO センター・コモンズ）
- ・川北秀人（IHOE [人と組織と地球のための国際研究所]）

B) 「地域円卓会議」をつくってみよう！

～SR 円卓会議・持続可能な地域づくり 2

「地域円卓会議」の企画から運営まで、ワークショップ形式で実際に考えながら学べます！「新しい公共」支援事業の終了後に、どんなしくみを地域に残せるかを考えたい方に、特におススメです。

- ・平田裕之（環境パートナーシップ会議）
- ・川北秀人（IHOE [人と組織と地球のための国際研究所]）

C) 世界初の SR 国際規格「ISO26000」で

他セクターとの協働を進める

～ISO26000 と国内規格 JISZ26000 とは

世界初のマルチステークホルダープロセスにより策定された国際規格 ISO26000 を、身近に感じることができそうです！

- ・関正雄さん（公益財団法人損保ジャパン環境財団）
- ・筒井哲朗さん（シャプランニール＝市民による海外協力の会）
- ・黒田かをり（CSO ネットワーク）

C) 社会に信頼される NPO/NGO を目指して

～NPO/NGO の SR 取組み事例紹介

ISO26000 が NPO/NGO の運営にどのように影響するのか、今後どのように取組みを始めていけばよいのかなど、NPO/NGO 自身の社会的責任について、各地での実際の取組み事例をご紹介します。解説していきます

- ・石原達也さん（岡山 NPO センター）
- ・中村奈津子（参画プラネット）

■ プログラム

「マルチステークホルダーエンゲージメントが導く問題解決～地域・国際的な視点から人権の主流化を目指して」

2011年6月に国連理事会で採択された「企業と人権に関する指導原則」に代表される国際的な人権の潮流について学ぶとともに、マルチステークホルダーで日常的に問題解決に取り組む事例から指導原則をとらえ直すことで、人権という切り口で社会の課題解決に取り組む「人権の主流化」について考えます。

基調講演：白石理さん

(アジア・太平洋人権情報センター)

事例提供：石井花梨さん(カリヨン子どもセンター)

秋山映美さん((株)ラッシュジャパン)

分科会は、

・「社会的責任のための円卓会議(SR円卓会議)」、4つのワーキンググループからの報告!

日本初のマルチステークホルダープロセスであるSR円卓会議。「人を育む基盤の整備」「持続可能な地域づくり」「地球規模の課題解決への参画」「ともに生きる社会の形成」の4ワーキンググループから、その活動をご報告!

・JISZ26000に関する分科会は、ISO26000策定とそのJIS化に関わったNNネット会員が企画!

・NPO/NGOのSRとは?各地の取り組み事例紹介!

…など盛りだくさん!

■ 2日目 5月18日(金)

13:00

15:00

15:15~
17:00

A) 多様性豊かな、誰もが排除されない社会のために私たちができる具体的なこと

—調査・比較・課題解決に向けたアクション
—SR円卓会議・ともに生きる社会の形成

「暮らしやすさの指標」とは。「ともに生きる」社会の形成のための、各セクターのSRとは何かが見つかります。

- ・吉田 拓野さん(内閣府)
- ・矢野 洋子さん(東京消費者団体連絡センター)
- ・横田 能洋さん(茨城NPOセンター・コモンズ)

B)ISO26000時代のステークホルダー・エンゲージメント～企業とNPOの関わりから考える

ステークホルダー・エンゲージメントに関する企業の取り組み事例と、バリューチェーンにおいて企業に働きかけを行うNGOの取り組み事例を紹介します。

- ・山口 智彦さん(CSRレビューフォーラム)
- ・金田 晃一さん(武田薬品工業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部)
- ・岸本 幸子さん(パブリックリソースセンター)

C)企業のためのISO26000実践ワークショップ

企業がISO26000をどのように経営の実践に落とし込んでいるかを実践事例から紹介。また、ISO26000を自社経営に当てはめるミニワークを行います。

- ・岩原明彦さん(株式会社デンソー)
- ・川北秀人(IHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

クロージング
ネットワーキング
カフェ(予定)



会場では、NNネットが発行した書籍を販売します!ぜひ買い求めください。



※ 分科会の詳細はNNネットウェブサイトにて!

■ 日 時 : 2012年5月17日 (木) 10:30~17:40 (交流会 18:00~20:00)
2012年5月18日 (金) 13:00~17:15

■ 参加費 : 非会員7,000円、会員5,000円、学生3,000円
(1日券) 非会員4,000円、会員3,000円、学生2,000円

■ 会 場 : 早稲田奉仕園 (〒169-8616東京都新宿区西早稲田2-3-1)
交通 : 東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩約5分



■ お申込 : ウェブ上からお申込みいただけます。
次のURLまたはQRコードにアクセスして必要事項をご入力ください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/43339afa193411>



または、氏名、団体名、電話番号、メールアドレス、参加種別(会員/非会員/学生)、参加日(両日/一日)、参加希望分科会をご記入の上、メールまたはFAXでお申込みください
(メール: office@sr-nn.net FAX:03-3510-0856)

■ 主 催 : 社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク (NNネット)

■ 共 催 : NPOサポートセンター、大阪ボランティア協会、環境パートナーシップ会議、国際協力NGOセンター (JANIC)、
参画プラネット、CSOネットワーク、ダイバーシティ研究所、難民を助ける会、日本NPOセンター、
IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]

社会的責任向上のためのNPO/NGO ネットワーク

事務局 ((特活) 日本 NPO センター内)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245

TEL. 03-3510-0855 FAX. 03-3510-0856 office@sr-nn.net <http://www.sr-nn.net/>

NPO/NGO の自発的な参画と連携を通じてセクター間の対話を促進し市民セクターの定着と社会的な位置づけの向上を目指すとともに、あらゆる組織が社会的責任と信頼を高め住みよい社会を創造することを目的とし、SR (社会的責任) 向上のための普及啓発等を行っています。



社会的責任向上のための
NPO/NGOネットワーク

※